

現代文明論 学習指導案

教科担当者 宇都口 英樹

日 時	2003年 10月 29日 水曜日			7時間目
学 年 ・ 組	第1学年8組 一貫コース 43名(女子12名・男子31名)			本 時 間 2時間目
場 所	高校校舎3F コンピューター教室	資料または用具	PPスライド	
単 元	アイデアの具体化を発表する			
単元目標	各グループで出されたアイデアを全体の前で発表(プレゼンテーション)し、全体から色々な意見を聞き、改良を加える。			
本 時 目 標	作成した発明説明書を元に、プレゼンテーション準備された内容を発表する。なお、今回の発表に関してはパワーポイントのみならず、書が画面を用いて図面説明を行うことも可とする。			
段階	時間	学習内容	学習活動	指導上の留意点
導 入	5分	前時の確認	前時のプレゼンテーション時に指示した内容の再確認を行う。	今回は前半の5班で行うため、1つの班当たり5分以内の発表+3分間の質疑応答であることを必ず告げる。
展 開	40分	まとめた内容の発表(プレゼンテーション)	各班 5分以内の発表+3分間の質疑応答で行う。	他の班の発表を聞いて評価をつける(3段階評価)。ならびに、改善すべき点のアドバイスコメントを付けるようにする。
ま と め	5分	次回の授業の説明	次回より、発明説明書の内容が新規であるか否かの検討に必要な特許検索を行うことを告げる。 また、次回の授業から弁理士(日本弁理士会近畿支部副支部長 大西弁理士)による授業であることを告げる。	本日発表した班は、次回までに発明説明書を改善して再提出するように指示する。